鎌倉の 温古堂
創業弘化四年
盆提灯・仏壇
仏具・香・香炉
御宮・神具
フーフでナムナム
☎〇四六七(22)七六七六

7月1日号
2021年(令和3年)
第508号
毎月1日発行
(一部税込み110円)
http://kamakura-asahi.com

鎌倉朝日

朝日新聞の姉妹紙
©発行所 鎌倉朝日新聞社☎0467-24-8553 FAX 23-1205
〒248-0007 鎌倉市大町2丁目8番13号2-202

お宮参り・七五三の会食は
鎌倉 峰木
八幡宮前・小町通り・十二所神社前
本店 電話 0467-22-4431

西田幾多郎の歌碑 復活を

鎌倉市が寄付の呼びかけ

鎌倉市は、鎌倉ゆかりの哲学者・西田幾多郎（1870～1945年）の歌碑を鎌倉海浜公園稲村ガ崎地区に設置するためのガバメントクラウドファンディングを実施し、寄付を募っている。

この歌碑は、国道134号線沿い、鎌倉・稲村ガ崎の海を臨む公園用地に設置されていたが、2019の台風19号の波で海側の歩道が崩落し、安全確保のため、移動して鎌倉海浜公園稲村ガ崎地区で保管されている。

1928年、58歳で京都大学を定年退官した西田幾多郎は、1945年に死去するまで鎌倉で過ごし、鎌倉の海にまつわる短歌をいくつも残した。幾多郎の没後、その偉業を記念するために1951年、歌の一つを彫った歌碑が建立された。

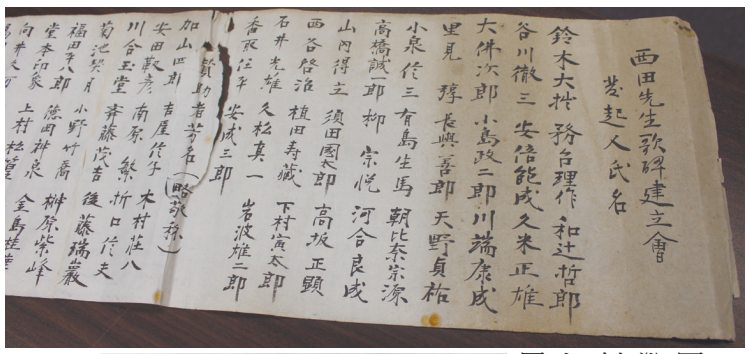
歌碑は幅約1㍍、高さ2・5㍍ほどの大きさの御影石で、「七里濱 夕日漂ふ波の上に 伊豆の山々果し知らずも 寸心」と記されている。幾多郎は哲学者であるとともに、詩人でもあり、終生で200首ほどの短歌を残した。歌碑に刻まれた歌は1935年、幾多郎が65歳頃の作という。

歌碑を発案したのは、安成三郎で、鈴木大拙が歌を選び、朝比奈宗源の書、神奈川県立近代美術館旧鎌倉館を設計した建築家・坂倉準三のデザインで建立された。

鎌倉市中央図書館に、歌碑建立の発起人と賛助者の名前を記した資料が保存されている。

そこには、発起人として、和辻哲郎、川端康成、ら29人のほか、賛助者として小林秀雄や東山魁夷ら225人の著名な学者や文化人が名を連ねていて目を見張る。この資料は安成三郎が保管していたもので、安成の没後、安成の甥から鎌倉市に委託されたという。

クラウドファンディングの目標金額は、400万円。募集期間は8月29日までの90日間。申し込みはポータルサイトか、電話、鎌倉市役所企画課ふるさと寄付金担当へ。☎0467・61・3845



▲歌碑建立の発起人名簿

▶稲村ガ崎にあった西田幾多郎の歌碑＝鎌倉市提供

鎌倉 みほとけ紀行

明月院・上杉重房坐像

題字は建長寺派管長 吉田 正道

(111)

文 永井宗直
写真 原田 寛

6月といえば鎌倉。明月院ブルーの紫陸花がひときわ爽やかに咲く明月院を散策してきました。木々を抜ける風、季節の花々に囲まれた明月院境内には楽しそうに歩く若者が目立ちます。お寺に若者が足を運んでいただけることはうれしい限りです。綺麗な着物や浴衣で彩ったお嬢様方に、思わず花より団子も目がうばわれてしまいます（笑）。

続くコロナ禍に人々は限界、疲弊した心に少しでも鎌倉の自然や清々しい空気にふれたいのだと思いました。お寺は癒しの空間であり、こころのオアシスなのです。

さて今回のみほとけは、明月院所蔵の上杉重房（しげふさ）坐像です。像は現在、鎌倉国宝館に寄託収蔵されています。

上杉重房は鎌倉中期の武将で関東管領（かんとうかんれい）上杉氏の祖といわれます。1252年（建長4）宗尊（むねたかしんのう）親王が鎌倉幕府6代将軍として下向するのに従い鎌倉に移りました。やがて上杉氏は足利氏と密接な姻戚関係を結び、重房の孫娘（清子）は足利貞氏（あしかがさだうじ）の妻となり、あの足利尊氏、直義（ただよし）を生みました。以後足利氏の外戚として重きをなし、末裔（まつえいうえすぎのりまさ）、上杉憲方は明月院の開基となりました。

鎌倉後期の肖像彫刻の傑作といわれる像は烏帽子（えぼし）をかぶり、狩衣（かりぎぬ）（貴族の日常着）と指貫（さしぬき）といわれる袴（はかま）姿で安座する姿は勇ましく武将でありながら、朝廷に仕える頃の都人として品格のある風貌を伝えています。

凛々しくも少しうつむき加減で温和に見えるお顔には、何某か心に憂いを感ずるような表情にも見えました。その曇りの空のようにもみえる重房の眼の先にある世はどんな時代であったのでしょう。

木造、彩色、玉眼。像高68・2㎝。鎌倉時代。

鎌倉表駅商友会 商店街マップ作成

鎌倉表駅商友会（荒井國明会長・会員約100）が、5月に加盟店舗の位置と業種を示した商店街マップを作成し、加盟店や観光案内所などで配布している＝写真は荒井会長。鎌倉市商店街活性化事業費補助金を活用し、8000部作成。

同商友会は、1948年4月に発足し、活動を開始。鎌倉駅東口周辺から二の鳥居にかけての商店や企業、金融機関、寺などで構成されている。この地域には、銀行や郵便局、農協連即売所、スーパー、小売店などがあり、住民の生活に密着した店舗が多い。荒井会長は「観光客にも地元の人たちにも、より地域のお店のことなどを知ってもらいつながりがもてたらうれしい」と話している。

鎌倉の年中行事 7月

▼鶴岡八幡宮の七夕祭 7日17時、鶴岡八幡宮。

▼大町・八雲神社例祭 10日9時。関係者のみ。

▼亀岡八幡宮例祭 16日。関係者のみ。

▼三浦義明墓前祭 22日来迎寺。関係者のみ。

▼施餓鬼会 24日宝戒寺。関係者のみ。

▼荏柄天神社例祭 24日16時半、宵宮、25日10時半、例祭。関係者のみ。

▼天王祭 中止。小動神社・江の島八坂神社の合同祭礼。

▼鎌倉花火大会 中止

【海水浴場の開設】

●逗子海水浴場 7月16日～9月5日

●葉山海水浴場（森戸、一色、長者ケ崎・大浜）7月2日～8月31日

●藤沢市海水浴場 ▽片瀬東浜7月3日～9月3日▽片瀬西浜・鵠沼7月3日～9月5日▽辻堂7月17日～8月28日

プロムナード

雨といえば「しとしと雨が降る中、紫陽花やカタツムリが主役」のようなイメージを持ちますが、近年の梅雨から現代の小学生たちの持つ梅雨のイメージを共有できるのか不安になる昨今です▼「新しい言葉が誕生することで変化すること」や「変化したから新しい言葉が誕生すること」など伝え残したい言葉もありますが、そんな情景や場面が減ることで自然と落ち着いていくように感じています▼令和時代は江戸や鎌倉時代と言葉も気候も大きく変化していることでしょう。過去を大切にしつつも、新しい時代に順応する必要もあると考えます▼コロナワクチン接種が進むことで、少しずつでも社会状況が好転することに期待します。（N）

鎌倉名産 梅花はんぺん
井上蒲鉾店
http://www.inouekamaboko.co.jp/

好評販売中
鎌倉産たこ使用

株式会社 大森商店
o.m.s.souvenir.works
☎0467-22-2626
http://www.e-omori.com/

安心感で暮らし豊かに。
清興建設株式会社 ☎0467-24-3700 担当／久下 9:00～17:00 定休日／水・日・祝

明治37年創立
学校法人 鎌倉女学院
中学校・高等学校
心身ともに健康で
国際性豊かな人間教育
〒248-0014 鎌倉市由比ガ浜2丁目10番4号
電話(0467)25-2100(代表)

暑中御見舞申し上げます
大塔宮
鎌倉宮 宮司 小岩 裕一
鎌倉市二階堂一五四